

MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING

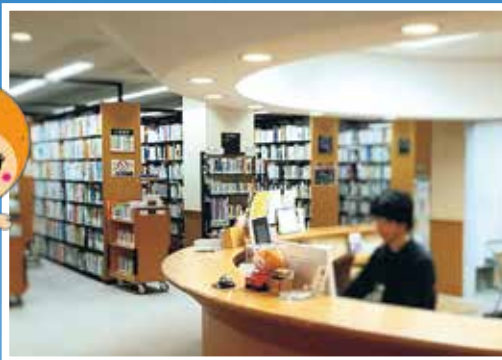
MCN REPORT

附属図書館、附属看護博物館を紹介します

～看護関連図書の実数は県内最大規模！

附属看護博物館は国公立大学初～

Vol. 38
2019.2



附属図書館(1～2頁)



附属看護博物館(2頁)

主な内容

附属図書館、附属看護博物館を紹介します	1・2
連携協力協定病院紹介（三重県立総合医療センター）	4
大学院研究科（修士課程）のカリキュラムが変わります	6
さらなる発展と人材育成の充実に向けて	裏表紙



三重県立看護大学
MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING

大学マスコット
キャラクター
「みかんちゃん」

附属図書館、附属看護博物館を紹介します

県内唯一の公立大学である本学は、三重県の看護教育・研究の中核拠点として、地域の保健・福祉の向上への寄与を使命としています。

今号では、本学の知の情報拠点のひとつとしての役割を担う、附属図書館・附属看護博物館を紹介します。

1

附属図書館の概要



豊富な看護関連図書



研究を支援する検索用パソコン



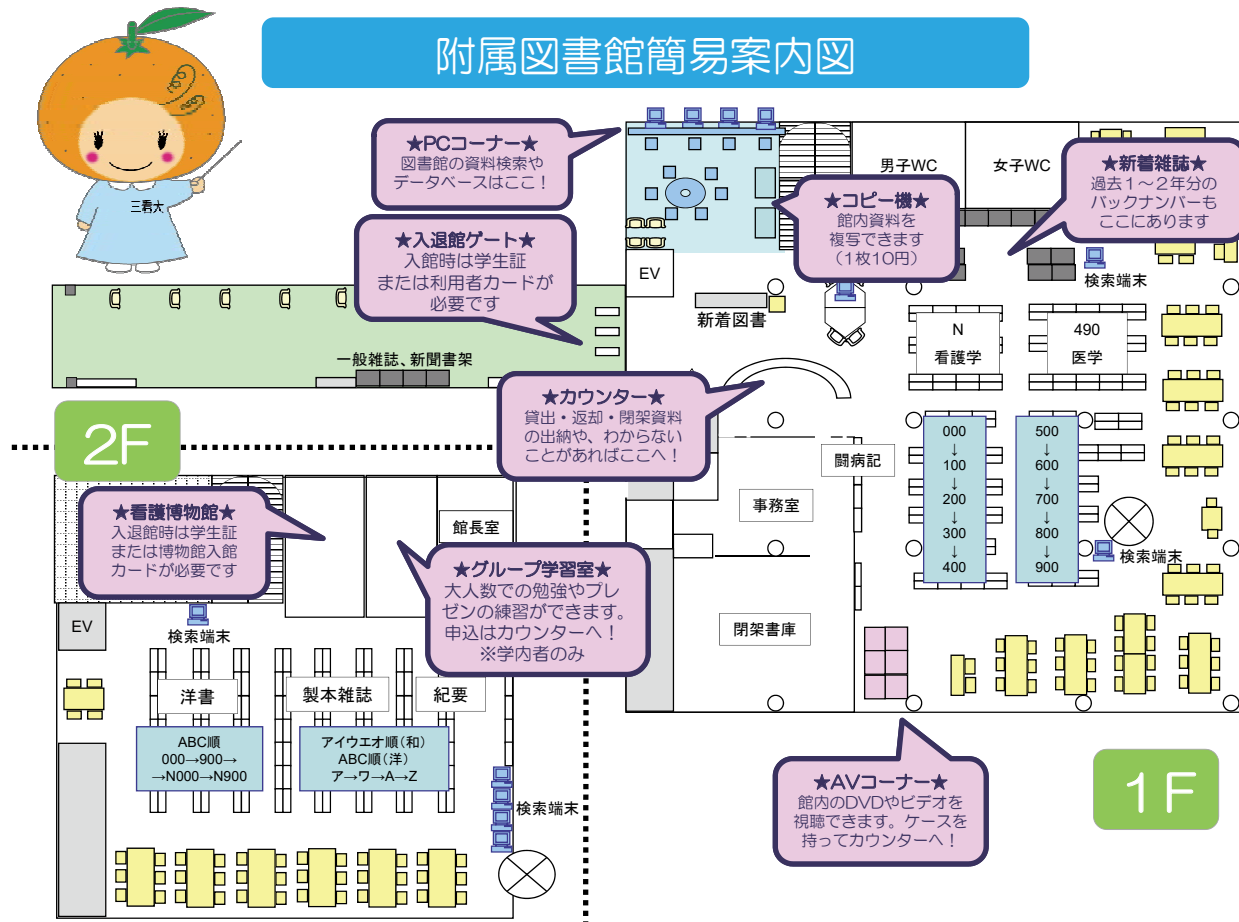
企画展示コーナー「文学賞受賞作品」

<基礎データ> (数値は平成 30 年 3 月末現在または平成 29 年度実績)

- 所蔵図書：73,558 冊 (うち開架 60,298 冊)
- 年間入館者数：36,023 名
- 館外個人貸出数：17,130 冊 (うち学生 9,686 冊)
- 文献複写 (年間)：提供 792 件 / 取寄 461 件

2

図書館レイアウト



3

どなたでも利用できます



入退館ゲート



学習の様子



雑誌コーナー

県内在住・在勤・在学（大学生・専門学校生以上）の方は利用者カードを作成することができます。ご住所を確認できる証明書等が必要です。手続きの詳細は、附属図書館にご確認ください。

初めて図書館を利用される方

その旨を図書館入口のインターホンでカウンターのスタッフにお申し出ください。入館後、「図書館利用申込書」をご記入いただけます。（頻繁に閲覧される方は、利用者登録をお願いします）



カウンター

開館時間 月～金：9時～21時 土・長期休業期間：9時～17時

休館日 日曜日・祝日・年末年始、館内整理日（毎月第1木曜日）、開学記念日（5月8日）、特別整理期間

（臨時に休館もしくは開館時間の変更あり。特別整理期間も含め詳細は本学図書館ホームページ等でご確認ください）

貸出冊数・貸出期間

	貸出冊数	貸出期間
学生	5冊	3週間
院生・研修生・連携協力協定病院の方	10冊	1ヶ月
卒業生・修了生	5冊	2週間
県内在住・在勤・在学者	3冊	2週間



4

規模は小さいですが、国公立大学初 附属看護博物館

附属図書館2階の附属看護博物館は、開学15周年事業の一環として平成24年5月に開館した、国公立大学初の看護に関する博物館です。（所蔵数は1,000点程度。定期的に展示替えをしています）



看護博物館入口



貴重な先人の資料を多数展示



看護衣の変遷

お問い合わせ先

附属図書館：☎059-233-5608

附属看護博物館：事務局企画総務課 ☎059-233-5696

インタビュー

小池 教授（図書館長） 別當司書 インタビュー

図書館長である小池敦教授、別當直子司書に、本学図書館の特色や今後のめざす姿についてお聞きしました。



別當司書（左）・小池館長（右）

「看護専門図書の充実にプラスして、居心地の良い空間をお届けしたい」

Q1 本学の図書館の特色は何ですか。

小池： 看護の専門書の充実が自慢です。本学の学生はもちろん、県内の看護職者の方にもご利用いただいています。小さな図書館ですが、学生一人当たりの蔵書数は全国の大学図書館と比べても多いといえます。

別當： 看護関連図書の蔵書数が多いので、他の看護大学の方も頻繁にお越しいただいています。

小池： また、積極的に情報化を進めたことで、学生や教職員は手持ちのパソコンから文献の検索やダウンロードができるようになりました。しかし、そのことが、図書館に足を運ぶ人が少なくなっている原因となっているとしたら少し残念です。何度も行きたいと思ってもらえる工夫が大切だと思っています。さらにもう一つ、図書館サービスの業務委託によるサービスの拡大が挙げられます。

別當： 大手書店の持つ全国的なネットワークの図書館業務への活用は、本学図書館の大きな特色です。そして、情報環境を最大限活用いただくための新入生へのガイダンスなどのサポートも強みです。

また、先生方には授業における課題図書を選定してもらうなど、学生の皆さんに活用を促していただいています。そんな中、私たちスタッフは、多くの学生がまた何度も来たくなる居心地の良い空間となるよう知恵を出し合っています。看護関係だけでなく、例えば「闘病記」や、三重県関連の本「みえほん」などの特設コーナーの設置なども行っています。

小池： スタッフの皆さんには、積極的に環境を改善してもらっています。

別當： 例えば、学外利用者用ロッカーの設置場所を見直しました。以前は図書館入口の外に置いていましたが、長時間利用している方が荷物の整理に入退館ゲートを出なくていいように、図書館内に移動させました。



闘病記コーナー



みえほんコーナー

Q2 今後、本学の図書館をどのようにしていきたいですか

小池： 従来皆さんがお持ちの「学習の場」といった大学図書館のイメージを超え、例えば、本学はたくさんの県内の看護職者の皆さんが集まることから、皆さんの情報交換の場としても活用いただけるよう、工夫を加えたいです。

別當： 私も同様で、きっかけは学習の場かもしれませんが、ぜひ、スタッフのチームワークで、本に囲まれる幸せや心地よい空間を、多くの利用者の方々にお届けしたいです。

小池： 学生が1日1回来たくなるような、そして県内の看護職者の皆さんにさらに利用いただけるような図書館をめざします。

また、図書館内には看護の歴史に触れることのできる附属看護博物館もありますので、これまで以上に看護の情報拠点となればと思います。



利便性に配慮（ロッカー）

小池 敦 図書館長 理事（企画情報分野）、メディアコミュニケーションセンター長を兼務。教授（心理学）

連携協力協定病院紹介

連携協力協定病院（地方独立行政法人 三重県立総合医療センター）

平成26年7月に本学との協定を締結した地方独立行政法人三重県立総合医療センター様から、病院や看護部のめざす姿や職場づくりの取組についてお教えいただきました。



三重県立総合医療センター

「いのちに寄り添い、こころを支える看護の実践と、共に学び成長できる職場環境を目指して」

当院は、三重県の北勢地域に位置し、救命救急センターを併設する急性期総合病院で、高度医療の実践、地域医療を支援する病院として、県民に対する医療の提供、また大規模災害の発生時等、非常時の県のセーフティネット、小児・周産期医療の推進など、公的病院としての役割を担っております。多様な役割を持つ当院だからこそ学べる機会がたくさんあります。

看護職員育成には、キャリアラダー制度を運用し、新人から継続的に学べる環境を整えており、看護職としての基盤を作り、自己の将来への選択肢を広げることができる病院です。急性期病院という展開の速い職場ですが、「気づき・対話・協働・笑顔」を理念に据え、患者さんの思いを感じ、察することを大切に考え、小さな気づきをみんなで育て、協力し合って「看護を通してみんな笑顔になってゆく」そんな看護部づくりを目指しています。

職場環境の整備については、ワーク・ライフ・バランス（WLB）の推進の他、変則三交代勤務、ペアナーシング制の導入など、スタッフの声を大切に形にすることで働きやすい職場づくりの実現につなげています。

三重県立看護大学とは、平成26年7月に連携協力協定を締結し、それ以降、看護研究指導、倫理研修など大学の先生にご指導頂いております。また、平成28年度、30年度には、卒業生である職員が、人事交流の一環として、大学助手として学ばせて頂いております。当院は、開学時より臨地実習のフィールドとして活用頂いており、臨地実習の質向上にむけ、取り組んでいます。

実習等、病院にお越しになった際には、気軽にお声かけください。

（副院長兼看護部長 川島 いづみ）



病院情報

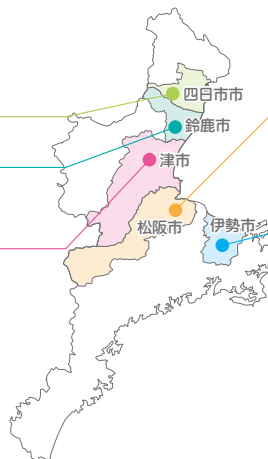
地方独立行政法人 三重県立総合医療センター [平成6年10月開設]

- ❖ 病床数：一般病床413床（うち4床は感染症病床）、救命救急センター：30床
- ❖ 診療科目：総合内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、一般外科、消化器外科、小児外科、乳腺外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科、皮膚科、眼科、精神科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、救急科（25科）
- ❖ 職員数：798人（うち看護師・助産師 494人）（平成31年2月1日現在）

連携協力協定病院一覧

県内10病院

- 地方独立行政法人 三重県立総合医療センター
- 三重県厚生農業協同組合連合会 鈴鹿中央総合病院
- 三重県立こころの医療センター
- 独立行政法人国立病院機構 三重病院
- 三重県立一志病院



- 松阪市民病院
- 社会福祉法人恩賜財団 済生会松阪総合病院
- 三重県厚生農業協同組合連合会 松阪中央総合病院
- 日本赤十字社 伊勢赤十字病院
- 市立伊勢総合病院

（平成31年2月末日現在）

大学の出来事

大学の出来事

卒業研究発表会

12月24日（月）、平成30年度卒業研究発表会を開催しました。この発表会は、4年生が教員の指導のもと、それぞれ設定したテーマについて、約9か月間にわたり主体的に研究活動に取り組んだ集大成です。

発表会は、4年生と教員のみならず、来年度研究に取り組む3年生も参加し、熱心に聞いていました。



12月24日（月）

修士論文発表会

1月23日（水）、平成30年度後期大学院看護学研究科修士論文発表会を開催しました。この発表会は研究成果を発表する場であるとともに、学位授与審査の一過程となります。

発表者による発表後、参加者との質疑応答が行われました。発表スライドの内容、研究手法、研究後の気づきなど様々な質疑がなされました。



1月23日（水）

第3回公開講座

1月12日（土）、「認知症になりたくない！～認知症の予防対策を教えます～」(共催：NHK)を開催しました。

櫻井孝氏（国立長寿医療研究センター・もの忘れセンター長）の、認知症の早期発見の方法、診断の実際、認知症の予防の最新情報に係る講演に、参加者からは「大変分かりやすかった」「非常に参考になった」などの声を頂戴しました。

なお、募集開始後、早期に定員（350人）に達したことから、改めて県民の皆さんの認知症予防への高い関心を実感しました。



1月12日（土）

来年度の公開講座について

ニーズの高い健康づくりや認知症などをテーマに3回開催予定です。正式に決まり次第ホームページ等でご案内します。ぜひご参加ください。

キャンパスカレンダー・お知らせ

キャンパスカレンダー（1月～3月）



1月

21日(月)～3月1日(金) 公衆衛生看護学実習(3年生)

2月

6日(水)～13日(水) 後期定期試験(追試験・再試験は2/14(木)～2/20(水))
15日(金) 認定看護師教育課程「認知症看護」修了式

3月

11日(月)～23日(土) 国際看護実習I(タイ王国マヒドン大学)
16日(土) 卒業式・修了式

※日程は予定を含んでおり、変更となる場合があります。

大学院看護学研究科(修士課程)のカリキュラムが変わります

平成31年度から、大学院看護学研究科のカリキュラムが大きく変わります。

<主な変更点>

- 従前の修士論文コースと専門看護師(CNS)コースに加え、臨地教育者コースを新設します。
専門看護師コース(母性・精神)は38単位制とし、課程内容を充実する予定です。
- 教育研究分野は、基礎教養系および専門支持系の専門性を活かして多様な看護学の研究課題に対応できるように、「人文社会看護学」「自然科学看護学」を設置し、13分野に拡充します。

教育研究分野／コース	修士論文コース	臨地教育者コース	専門看護師(CNS)コース
人文社会看護学	○		
自然科学看護学	○		
実践基盤看護学	○	○	
看護教育学	○		
看護管理学	○		
母性看護学	○	○	○
小児看護学	○	○	
成人急性期看護学	○	○	
成人慢性期看護学	○	○	
老年看護学	○	○	
精神看護学	○	○	○
在宅看護学	○	○	
公衆衛生看護学	○	○	

詳細は、別途募集要項に記載するほか、ホームページに掲載しています。

お問い合わせ先 事務局教務学生課

さらなる発展と人材育成の充実に向けて
 ～学生の修学支援のための基金への寄附の報告とお願い～

本学では開学20周年を契機に学生の修学支援に活用するための基金を創設し、平成29年9月に同窓会や後援会等の皆さまに寄附を募ったところ、多くの皆さまからご厚志を賜っております。

- ◆平成31年2月末現在の状況
- 寄附総額 5,810,000円
- 寄附者数 個人 47人／法人・組織 12団体



この基金は、「みかん大進学支援給付金」の財源として、三重県の保健・医療に貢献する意欲があり、本学への進学の目的及び意志が明確であるにもかかわらず、経済的理由により進学が困難な人への入学時の給付金に充てられます。継続的に安定した学生への支援を可能とするため、引き続き、皆さまの格別の御協力と御支援をお願い申し上げます。

■お知らせ■

本寄附金は、総務大臣及び文部科学大臣の承認を得て、所得税の税額控除の対象となりました。詳細は事務局までお問い合わせください。(平成31年1月～平成35年12月寄附分)

お問い合わせ先 寄附に関すること：事務局企画総務課、給付金に関すること：事務局教務学生課



本学マスコットキャラクター「みかんちゃん」

三重県立看護大学の略「三看大(みかんだい)」の「みかん」に学生たちが持つ「優しさ」をイメージした大学キャラクターです。平成21年の法人化を機に学内からの公募で選ばれ活躍しています。



学章の由来

看護のイメージを高めてほしいという願いと、未来に向かって成長していく若者の姿を大小2つの翼とナースの「N」をモチーフにして表現しました。



「大学基準協会」の定める「大学基準」に「適合」と認定されています。

認定マークとは…法で定められた認証評価機関である大学基準協会の大学評価を受けて認定された大学に交付されたものであり、その大学が常に自己点検・評価に取り組んでいること、そして社会に対して大学の質を保証していることを示すシンボルです。



公立大学法人
 三重県立看護大学

〒514-0116
 三重県津市夢が丘1丁目1番地1
 TEL 059-233-5600(代)
 FAX 059-233-5666
<http://www.mcn.ac.jp/>



広告

広告

**医療と福祉をつなぎ
 いのちの虹になりたい**
 ～それが日本最大の社会福祉法人済生会の願いです～

「癒しの看護」
 患者さんが心身ともに安らかな状態にあるように看護を提供します。

社会福祉法人 恩賜財団 **済生会松阪総合病院**
 〒515-8557 三重県松阪市朝日町1区15番地6
 TEL:0598-51-2626 FAX:0598-51-6557
 URL:<http://www.matsusaka.saiseikai.or.jp/>

**田中病院は2018年7月1日に
 伊勢市大世古4丁目へ新築移転しました。**

医療法人 田中病院
伊勢田中病院

内科／呼吸器内科／循環器内科／
 腎臓内科(透析)／通院・入院)
 外科／消化器外科／整形外科

〒516-0079 伊勢市大世古4丁目-6-47
 TEL(0596) 25-3111
 FAX(0596) 27-5771
 ホームページ <http://www.isetanaka.jp/>

※「MCNレポート」の発行経費の一部に充てるため広告を掲載していますが、内容に関する一切の責任は
 広告主に帰属するものです。